



令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

大和西小学校 三年生 名前 服部七咲

わたしは、プラスチック工場を見学して、工場の人があついでで手作ぎょうでゴミを分けていることを知りとてもたいへんだなと感じました。だからこそ、家ではしっかり分べつして、プラスチックゴミはよづこれをすすいですてようと思いました。家族にもきょうかしてほしいとおねがいしました。プラスチックはしてもべんりてひつような物だけれど、プラスチックゴミをへらすために、つめかえ用の商品を、えらんたり、エコバックを使うようにしていきたいと思いました。見学をしてプラスチックしげんのリサイクルの大切さを知ったので、このことをみんなにももつと知ってもらいたいと思います。

ごみを減らすため リサイクルは とても大切

① 生活の中で

- ・マイバック持参
 - ・マイボトルを持ち歩く
 - ・プラスチックを減らす
 - ・プラスチックをやめる
- etc



②



- 買ったものにこの
マークがついていた
- ・プラスチックごみとして出す
 - ・汚れていたら必ず洗う
- 汚れが落ちないものは
可燃ごみへ

リサイクル工場ではリサイクルさせて
プラスチックの粒や燃料として生まれかわる。

容器包装
リサイクル法

(この時しっかり分別されていなかったり、汚れが落ちてないものが入っていると
工場の仕事が増えて大変なので、分別は、とても大事。)

丹陽西

小学校

四年生

名前：溝口知夏

令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

私はお母さんと二人でごみ減量のプラスチック講座と、工場見学に行きました。

初め、プラスチックについて学び、その後花王の方に海洋プラスチック問題、それがごみ減量や会社などの努力でごみを減らしている。ということも教えてもらいました。

次に木曾川町にある工場に行きました。その工場では、自分達の家から出るごみをもう一度分別をして、燃料やおもちゃやプラスチックなどを取りのぞきます。その時にちゃんと分別しておけば、手間があまりかかりません。なので、ちゃんと分別することを心がけよう。ということも学びました。

最後に関市にある工場に行きました。ここでは、分別する工場から選ばれたプラスチックごみを洗って、やいて、細かく切って、

ペレットのようにする工場です。どちらの工場も、おいと手間が問題になっています。分別をちゃんとすると手間が減り、軽く洗ってから捨てるにおいもなくなります。なので分別などのルールを守ら


なくてはいけません。分別がわかりました。身近なことから始めると、たくさんごみ減量につながるのだと思います。

木曾川かんきょうクリーンで学んだこと

集められたごみ



人の手でも分けられる
ぎけんな物が
入っていることもある

家から出たごみのわりは、入れ物
容器と包む物(包そう)なので使い終
わだ後、もう二度生まれ変わらせることが
できたりたくさんのごみをへらすことができ
る。必ず  のマークがついている物で、中身
を使い切って洗って出す。よぶとすると可燃
ごみになってしまう。

バッグスで学んだこと

プラスチック容器包そうは種類ごとに
分けてリサイクルされる。

PEポリエチレン PPポリプロピレン 水がび



- ① PP・PE
- ② ぐんぐん
- ③ 水はうがえる
- ④ 細かくぐんぐん
- ⑤ 洗う
- ⑥ 分ける
- ⑦ ぶつ水
- ⑧ かわかす

この後ペレットというつぶになり、プラントやオーワーク
のベルトなどにリサイクルされる。

2) PSポリスチレンをリサイクルされる。

3) その他(サイクルできないもの)燃料になる。

令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

茨城県北小学校 4年生 名前 木村陽介

社会のじゅ業でごみについて勉強したので、家から出
したごみがどうなるのか知りたいと思ってさんかしました。
プラスチックごみはしゅう集車で集められ、リサイクル会社で他
の物がまざってないか手作業でかくにんし、つぶされ、か
たまりになります。その後別のリサイクル会社で種類
分けなどをして、リサイクル原料や燃料になたりします。
たくさんの方が関わっているのにおどろいたし、リサイクル
の苦労などをたくさん知る事ができました。プラスチック
ごみを出す時、気をつけないといけない事が2つあります。
1つ目は、ふくろに他の物はせたい入れない事です。リサイクル
が大変になるし、入っていたリチウムイオン電池がばく発して、しゅう
集車や工場が火事になる事もあるそうです。2つ目は、よご
れている物は洗って出すことです。集められてから洗うのにはとてもお
金がかかります。それに工場見学をした時、すごくくさくてここで仕事をし
ている人は大変だと思いました。ばくもりリサイクルが当たり
前、の生活を心がけたいです。



光を当てし分け

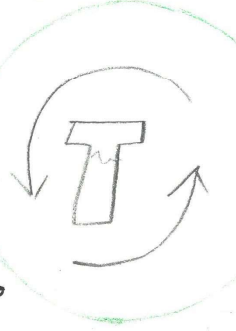
さらにし分け

かたまりになたごみ

Recycle (リサイクル)

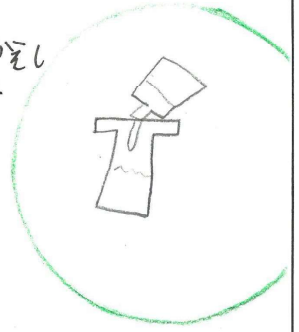
●リサイクル

再生紙なども
ざいのように使っ
てくらしの中でリサ
イクルしやす
容器を開発する。



Reuse (リユース)

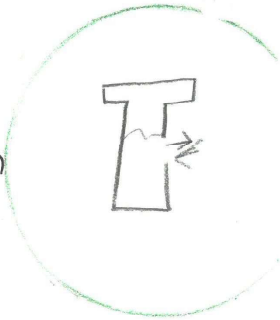
くりかえす
ようきをくりかえし
使えるものに
する



4R

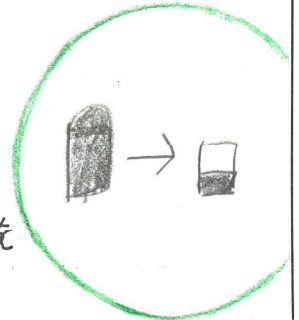
Reduce (リデュース)

おきかえる
石油由来の
プラスチックから
木質由来の
工泉米斗に
おきかえる



Reduce (リデュース)

●ゴミをへらす
容器を小さく
したり、かるくした
り、コンパクトに
することで
使う量を減ら
す。



令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

今伊勢西 小学校 三年生 名前 樽角 紗央

おたしはごみについて色々学びたいと思い、
ごみ減量親子モニタープラスチックの講座に
さんかしました。講座の内容は
①ごみについてかん強しようも
②プラスチックについて学ぼうも
③リサイクルについて工場見学で学ぼうもです。
中でも一番心に残ったのは②です。
②は「花王」という会社のエコへの取り組みに
ついて学びました。へらす、くりかえす、リ
サイクル、おきかえるの4Rを考えながら商品を開
発しているそうです。3Rからおきかえるを
ふやして全国のごみをへらす方法を見つけ
すごいなと思いました。この講座にさんかして
て分別の大切さ、ごみをへらすためにごみにな
るものを使わないなど自分ができることを見
つけて海の魚を守りたいと思います。

プラスチックのリサイクル工程



令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

千秋 小学校 3年生 名前: 小澤怜奈

2つの工場へ行って

たのしかったです。まず木曾川環境

クリーンのお話をします。そこでは花

まで見ました。そこにはプラごみの

ふくろがたくさんありました。

次は、パックス関工場です。そこはペル

からかいたいで選別したりいろいろ

なことをしていました。ペル

をかいたいし、次は自動選別機で選別します。

PPとPEとPPSに分ける。せんべつするそうい

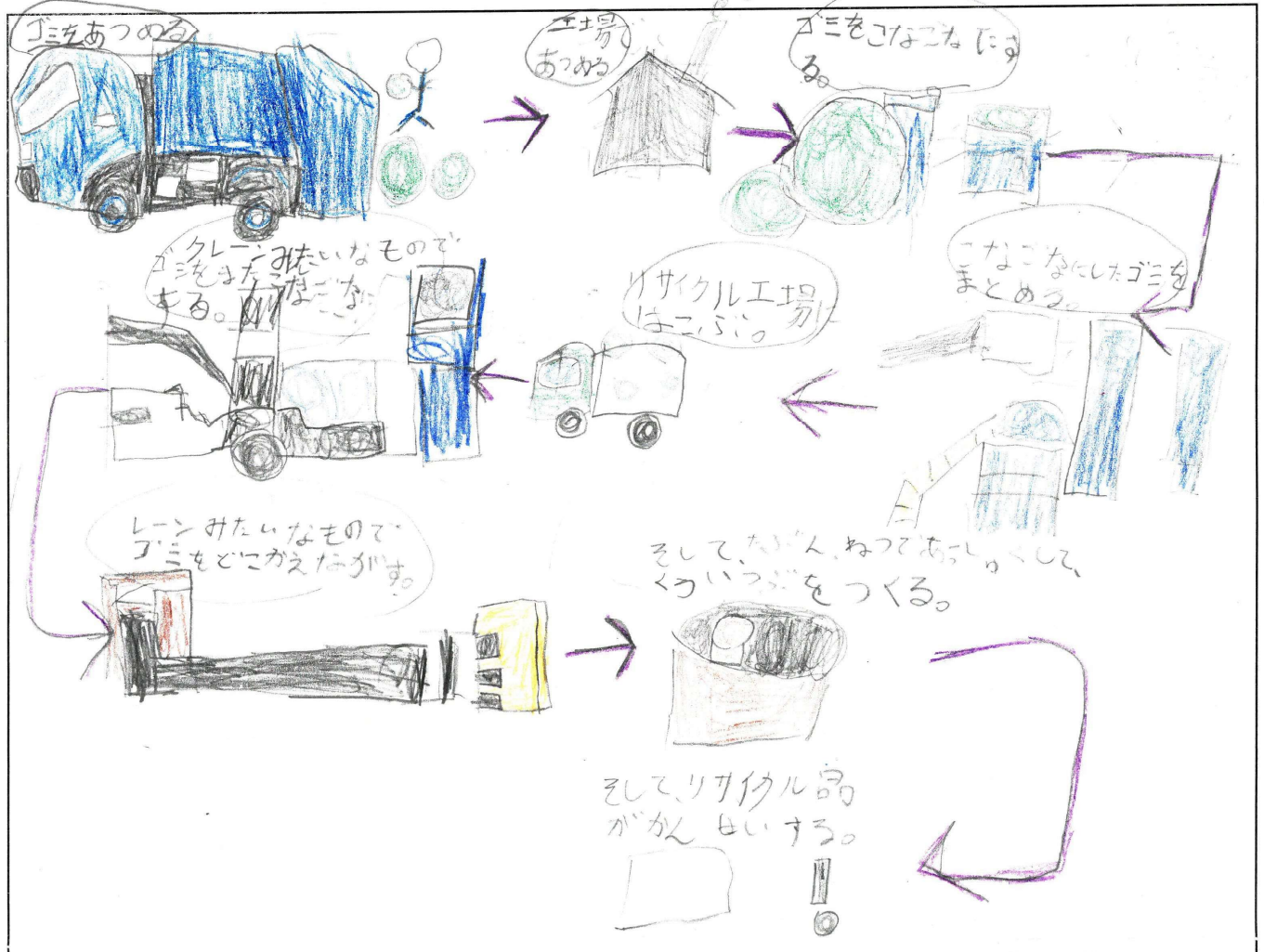
ういろいろなことをしていました。さいごにたの

しかったけれど正直、行ってくさかったです。

それでも工場ではたらいっているみなさん

のおかげでゴミをへらせています。

本当にありがとうございます。



令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

黒田 小学校 三年生 名前 永野 凪彩

わたしは、プラスチックの講座に行きました。

一が所目は、木曾川かんきょうクリーンに行きました。40万人ぶんのプラスチックごみだけをかいしゃうしているはずだけど、ネコのすなとか、なまごみ、電地、ライターなどが入ってるそうです。さいしよのきかいて、プラスチックのほうそうしいがいをおわけていて、まざっているときかいがかじになったり、ばくはつしたり、こわれたりするそうです。なまごみと、まざっているごみぜんぶもえるごみで、しよぶんしないといけないので、リサイクルできなはいそうです。今回がはじめてだけ、いとして、もでん強になって、よかったです。あと、リサイクル工場について、知れて、とてもよかったです。これから、も分別して、いききたいと、とても思います。また、さく人がもしたいです。



このマークがついていたら...

1 分別



2 まとめる



4 分ける

3バラバラにする



5 洗う

6 かんそうさせる



7 つぶになる

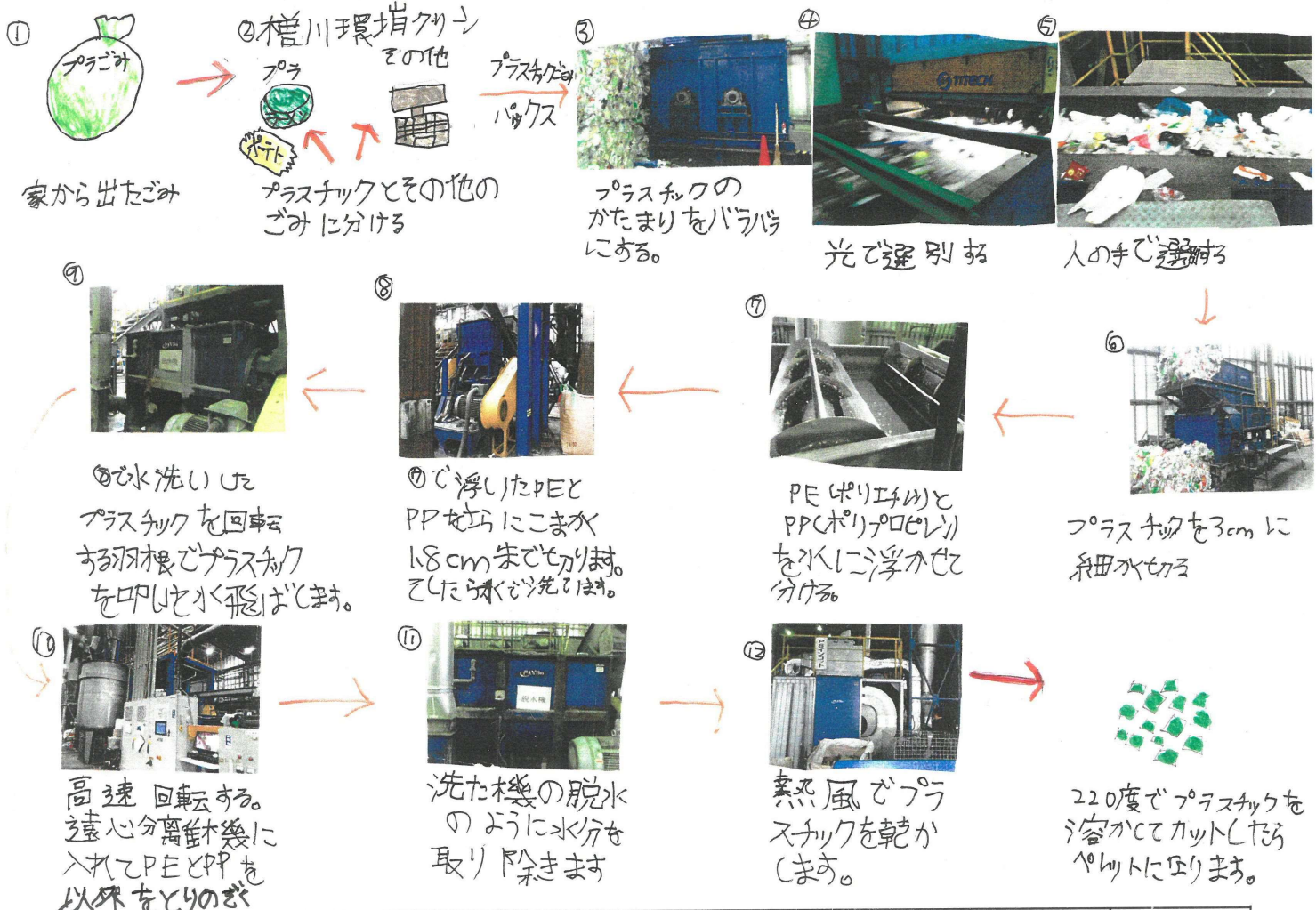
令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

奥小学校 4年生 名前 森本 はな

私は今まで、家からでたゴミは回収された後、トラックに行くか知らなかったし、ゴミ専用の工場があるなんて知らなかったです。でも今回の見学で答えが分かりました。

工場の中においては私にはキツかたけど、そのにおける原因は、みんながゴミをだすときに分別や洗わなかったせいでした。

私はこの工場の中の光景を見てもうちょっと出す時には気をつけようと思いました。



令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

北方小学校 五年生 名前 諏佐 春樹

比呂さんはプラスチックごみを
出した後どうなるか知っていますが。
まず、緑の袋に入れて出された
ごみはトラックで集められて
木曾川環境クリーン(株)にいき
ます。そこで袋を破りプラスチック
ごみとその他に分けます。
次にリサイクル工場に運ば
れPEとPPに分けてペレット(粒状)
になります。

工場では暑くてもごみの臭い
がただよんでいます。なので比呂
さんがごみを出す時はしっかりと
洗って協力して下さい。

ごみのしゅるいについて、家でまとめてみました。

かねんごみ

週2回

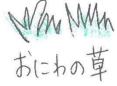
黄色いふくろ



紙のジュースのようき



きつめた花火とマッチ



おにの草



カレーに使った人じんのかわ



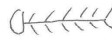
卵のカラ



カップラーメンのふた



うわは、プラスチック

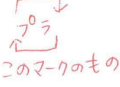


魚のほね

プラスチック

週1回

みどりのふくろ



お肉や魚のトレイ



つんであるとうめいのもの



おかしのふくろ



ヨーグルトのようき



昆虫ゼリーのようき

あきん、金ぞく

月2回

みどりのふくろ



スプレーかん



リチウかん

ペットボトル

月2回

みどりのふくろ



お茶やジュースのペットボトル

3いねんごみ

月2回

とうめいのふくろ



ハシ>ペン



ヨーグルトのふた (P.E.T)



歯ブラシ



ハンガー



バケツ

町内かいしゅう

月1回

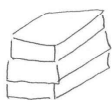
南木公園



お父さんののんだドリンクのびん



いけなくなったTシャツ



新聞紙



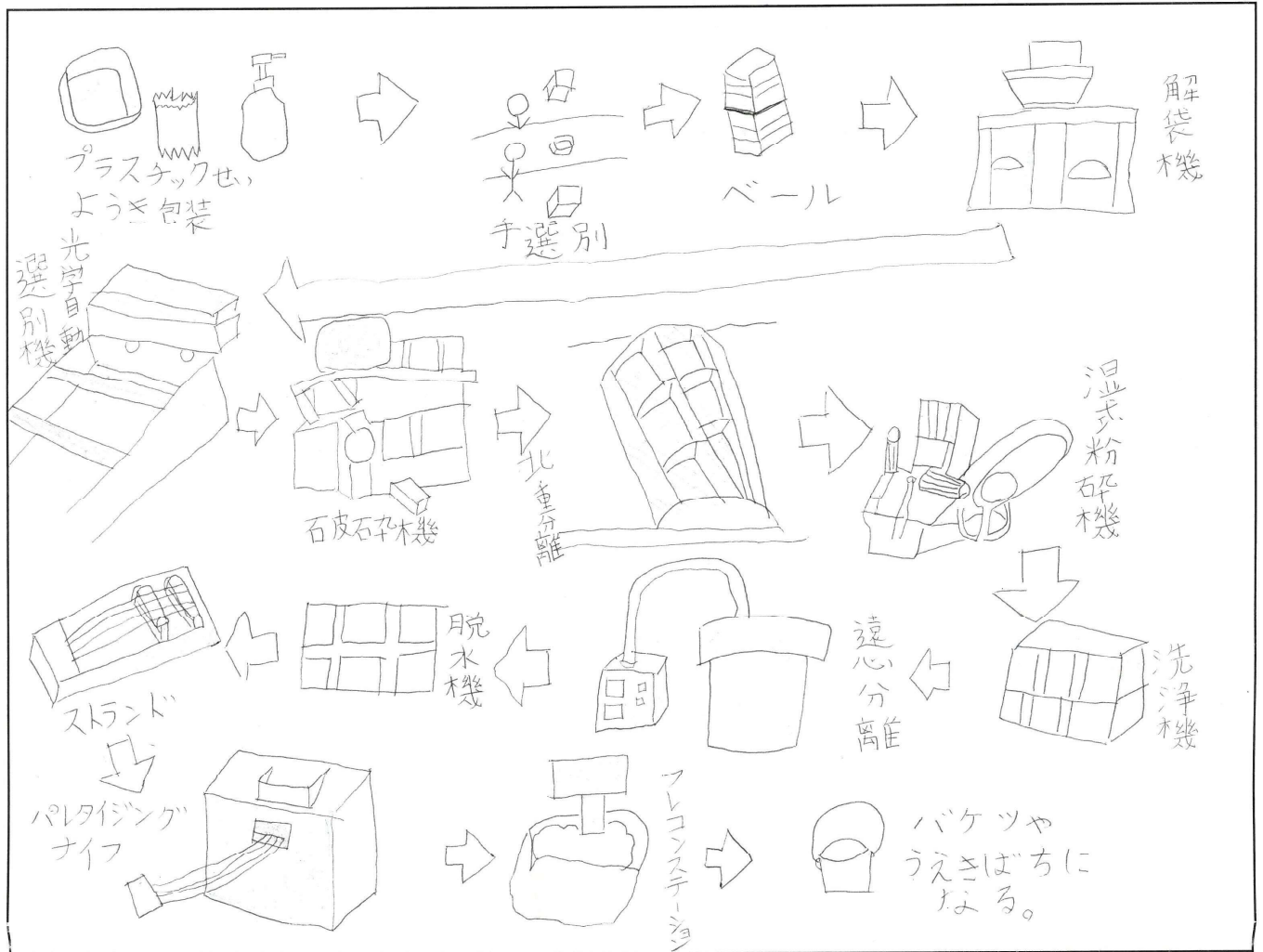
かん電池

*きんたばはねる

令和4年7月25日(月) プラスチックの講座
末広 小学校 3 年生 名前: 井上 義隆

僕は、家でごみを捨てる時に、「もえるごみ」や「プラスチックごみ」そして「鉄などの金ぞくのごみ」など、それぞれに分けられたごみはここに捨てることか、とてほしいんだなあと感じていました。お母さんに教えもらって、「プラ」のマークがある時は、プラスチックのごみなので、気を付けて捨てることかができるようになりました。ヨーグルドの入れものなどは、きれいになってからごみはここに捨てるいけないので、たいへんです。たまにお父さんがそのまま捨てていて、お母さんがおこっています。

僕が見学したプラスチックの工場は、市内から捨てられたプラスチックが集められ、こまかく切ってあったりし、また再利用するところでした。工場は、すごいにおいがしてとまもびっくりしたし、わすれられないにおいでした。「ごみだから、」とかんたんに捨てるのではなくて、また再利用してもらえんことを考えて、しっかりきれいにあらってごみぶくろに入れたいと思います。とまもあついでだったけど、勉強になったのでよかったです。



令和4年7月28日(木) プラスチックの講座

木曾川西 小学校 四年生 名前…東いちか

わたしは、木曾川環境クリーンとパックス関工場に行きました。

木曾川環境クリーンでは、家庭から出たプラスチックの容器包装を手選別したあとにボール化します。ココカタ、パックス関工場へ行きます。解袋機でボールをバラにします。その後、光学自動選別機でPSとPE・PPに分けます。そして、ボールにしたPEとPPを破砕機に入れ、水に浮かせ、比重分離します。そのあと、湿式粉砕機に入れ、水に入れて脱水します。かんそうさせたあとにストランドとして水につけ、パレタイジングナイフという機械に入れて、そのあと切りパレットにしたものをふくろに入れます。

パックス関工場は、おいたので、きれいに洗って分別して、かた出して、木曾川環境クリーンの方や、パックス関工場の方々に、めいわくがかかかないようにしたいなと思いました。

このまま
だと、
海の生き物
より、プラスチック
のほうが
多くなるかも...

正しく
分べつ
しないと
火さいの
げんいんに!!



今日はリサイクル工場に行ってゴミのべんきょうを
しました。そこで分べつの大切さをおそわりました。
なまなら、まぜてすてればゴミ、わければげんになる
からです。そして、57か所あったリサイクル工場が、
今は33か所にへってしまいました。そのほとんどが、
ライターやリチウム電池がげんいんの火さいでな
くなりました。だから、しかり分べつしようと思
いました。工場ではたくさんのきかいを使って、分べつ
洗濯、かんそう、カトなどをしています。工場内ではあ
つくてきょうれつなにおいがしました。よく洗うこと
で、においがげんいんされると聞いたので、よく洗って
はたらいしている人たちにきょうりょくしたいです。
今日学んだことは、友だちや、家族につ
たえていききたいと思えました。

令和4年7月28日(木) プラスチックの講座

宮西 小学校

3年生

名前

赤塚 美海



[トロンベルとは]
 くるくるまわって、角のあみ目から
 きけんな物(かんでんちやライタ
 など)をふるいおとす
 木製カパいす
 (きけん物がまぎっていると発火ばくはつのはきけん)
 分別はしかりしようね



<ベールは1口320kg>

令和4年7月28日(木) プラスチックの講座

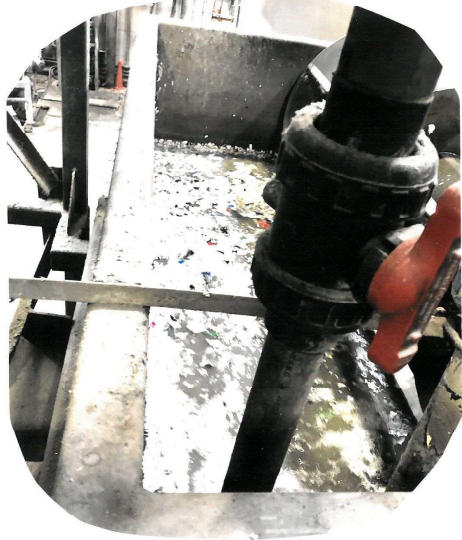
木曾川西小学校

4年生

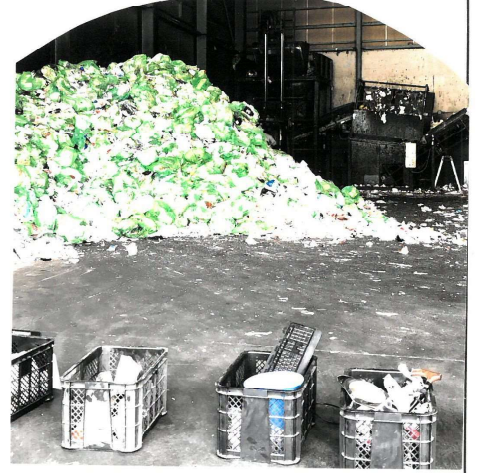
名前 小池ゆうき

はじめに宮市環境センターで
 ごみの勉強をしました。
 まずSDG'sや環境問題
 について宮市の人お世話とい
 う会社の人から教えてくれました
 その後木曾川環境クリーンと
 リサイクル工場パックスへ
 行きました。木曾川環境クリーン
 では機かいお人の手でプラスチック
 製容器や衣を分別してベールと
 言うかたまりにしてリサイクル工場運
 ばれます。リサイクル工場ではベール
 をベルトや燃料になります。
 どちらの工場もおいがすぶくて、
 捨てる時に洗う事が大事だと
 分かりました。

洗う機かい



ハカ別されていらないゴミ達



PPとPEを水で分ける



光で分別する機かい

令和4年7月28日(木) プラスチックの講座
 大志小学校 4年生 名前 日野有憐
 かんきょうセンターから、プラスチックのリサイクル工場へ行きました。
 そこでゴミについて学びました。
 プラスチックゴミの回収のゴミがまざっていると、工場の人かこまります。なぜなら、しわけにてまかかたり、リチウム電池などが原因で、火がでて工場が火事になってしまふからです。そして、するときによごれなどは、水あらいをするといひです。食べ物のよごれがついたままたし、リサイクルできないので、工場では、それをあらいながすてまかかかります。そのときのおいは、悪臭なので工場の人達は、大変そうでした。
 きれいになったプラスチックのそごいは、PPとPEに分けられて、リサイクルされます。それが、また新しいプラスチックのせい品に生まれかわります。
 リサイクルされたプラスチックのよう品を買いたいひです。